

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（11月22日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (11月22日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,085 mm (11月22日7時から25 mm上昇)	O.P.+ 3,159 mm (11月22日7時から3 mm下降)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 3,044 mm (11月22日7時から4 mm上昇)	O.P.+ 3,110 mm (11月22日7時から20 mm上昇)	O.P.+ 3,087 mm (11月22日7時から1 mm下降)	O.P.+ 2,998 mm (11月22日7時から11 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,381 mm (11月22日7時から7 mm下降)	O.P.+ 3,358 mm (11月22日7時から22 mm上昇)	O.P.+ 3,264 mm (11月22日7時から2 mm下降)	O.P.+ 2,995 mm (11月22日7時から13 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 4,277 mm (初期値からの増加量5,494 mm, 11月22日7時から2 mm上昇) O.P.+ 2,714 mm (初期値からの増加量3,440 mm, 11月22日7時から30 mm上昇) O.P.+ 4,260 mm (床面からの水位464 mm, 11月22日7時から1 mm上昇)		
滞留水の移送状況		1号機	2号機	3号機	4号機
		5・6号機			
水処理設備の運転状況		セシウム吸着装置 : 10月3日9時00分～ 停止中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 11月22日17時57分～ 運転中* 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転			
その他特記事項		* 第二セシウム吸着装置(サリー)において、水が漏えい(鉛筆太さ程度)していることを発見したため、11月20日8時26分に同装置を停止。その後、原因と対策の確認および起動準備が整ったことから、11月22日17時20分に同装置を起動し、同日17時57分に定常流量に到達。 ・ 11月22日10時10分～11時59分、メガフロートから5・6号機周辺仮設タンク等への滞留水の移送を実施。なお、移送については、概ね1ヶ月程度を予定。			

当初ホームページに掲載したデータから、追加で記載させていただいております。

・ 水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。